

2017年3月期 第1四半期 連結決算ハイライト (IFRS)

■市況の低迷等により、減収減益

◇売上高(日本基準)※	2,465 億円	△6.8% 減収
◇営業活動に係る利益	30 億円	△17.6% 減益
◇当社株主に帰属する四半期利益	10 億円	△44.5% 減益

(単位:億円)	損益の状況		前期比		2017/3期 通期	
	2016/3期 第1四半期	2017/3期 第1四半期	増減額	増減率	見通し	進捗率
売上高(日本基準)※	2,645	2,465	△180	△6.8%	12,500	19.7%
売上総利益	200	217	17	8.4%	-	-
販売費・一般管理費	△170	△186	△15	-	-	-
その他の収益・費用	6	△1	△8	-	-	-
営業活動に係る利益	37	30	△6	△17.6%	220	13.7%
利息収支	△5	△5	0	-	-	-
受取配当金	3	3	0	-	-	-
その他の金融収益・費用	△0	△0	△0	-	-	-
金融収益・費用	△2	△2	0	-	-	-
持分法による投資損益	0	△4	△4	-	-	-
税引前四半期利益	35	25	△10	△29.3%	210	11.8%
法人所得税費用	△15	△10	5	-	-	-
四半期利益	20	14	△6	△28.3%	-	-
親会社の所有者に帰属する四半期利益	18	10	△8	△44.5%	115	8.7%

【売上高】
鉄鋼・素材・プラントセグメントを中心に、180億円の減収。

【営業活動に係る利益】
市況低迷の影響等を受けた鉄鋼・素材・プラントセグメントを中心に、6億円の減益。

【親会社所有者に帰属する四半期利益】
持分法による投資損益の悪化等による税引前四半期利益の減益に伴い、8億円の減益。

(単位:億円)	資産・負債及び純資産の状況		前期末比	
	2016/3末	2016/6末	増減	増減率
総資産	4,436	4,349	△86	△2.0%
グロス有利子負債	1,369	1,387	18	1.3%
ネット有利子負債	488	604	116	23.7%
自己資本(注1)	916	866	△50	△5.4%
内、利益剰余金	291	290	△1	△0.5%
内、その他の資本の構成要素合計	85	37	△48	△56.7%
自己資本比率(注2)	20.6%	19.9%	0.7pt減少	-
ネットDER(注3)	0.5倍	0.7倍	0.2pt上昇	-

【有利子負債】
ネット有利子負債は投資資金の増加で115億円の増加。

【自己資本】
自己資本(資本の「当社株主に帰属する持分」)は、円高や、株価下落によるその他の資本構成要素の減少により、50億円減少。

上記の結果、自己資本比率は19.9%と0.7pt減少。ネットDERも0.7倍と0.2pt上昇。

(注1)自己資本は、資本の「当社株主に帰属する持分」 (注2)自己資本比率=自己資本/総資産 (注3)ネットDER=ネット有利子負債/自己資本

(単位:億円)	キャッシュ・フローの状況		【営業活動によるCF】 営業収入の積上げ等により、18億円のキャッシュ・イン。	【投資活動によるCF】 (株)ダイヤモンドテレコム の買収資金等により、109億円のキャッシュ・アウト。	【財務活動によるCF】 短期借入金の増加等により、7億円のキャッシュ・イン。
	2016/3期 第1四半期	2017/3期 第1四半期			
営業活動によるCF	△3	18			
投資活動によるCF	△26	△109			
フリーキャッシュフロー	△29	△91			
財務活動によるCF	△23	7			
現金・現金同等物の増減	△51	△84			

配当の状況	
【2016/3期】	
中間配当	1株当たり 2.5 円
期末配当	1株当たり 2.5 円
年間配当	1株当たり 5.0 円
【2017/3期】	
中間配当(予想)	1株当たり 3.0 円
期末配当(予想)	1株当たり 3.0 円
年間配当(予想)	1株当たり 6.0 円

	2015/3期	2016/3期	2017/3期
連結配当性向	14.7%	22.4%	22.0%

1株当たり四半期利益(円)	4.28	2.38	△1.90	△44.4%	27.33	8.7%
---------------	------	------	-------	--------	-------	------

※「売上高(日本基準)」は、日本の会計慣行に従い、当連結グループが当事者として行った取引額および当連結グループが代理人として関与した取引額の合計を示しております。

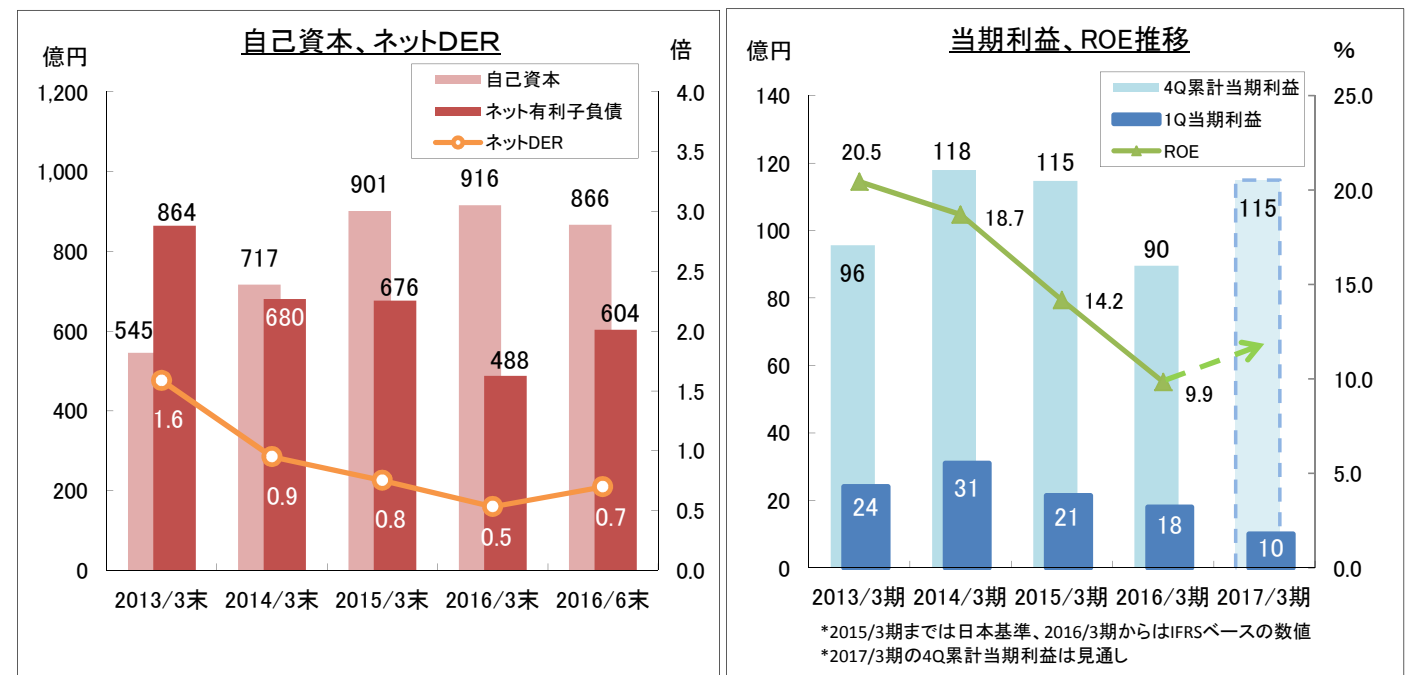
(単位:億円)	セグメント情報					
	売上高(日本基準)			営業活動に係る利益		
	2016/3期 第1四半期	2017/3期 第1四半期	前期比 増減	2016/3期 第1四半期	2017/3期 第1四半期	前期比 増減
電子・デバイス	612	706	94	12	16	4
食料	821	813	△8	4	3	△0
鉄鋼・素材・プラント	986	726	△260	6	△4	△10
車両・航空	196	187	△9	15	13	△2
報告セグメント合計	2,615	2,432	△183	36	28	△8
その他(含む調整額)	30	33	3	1	3	2
総合計	2,645	2,465	△180	37	30	△6

【電子・デバイス】増収増益
ICTソリューション事業は製造業向け取引が順調に推移。モバイル事業は軟調な滑り出し。電子部品事業等は急激な円高推移やスマホ市場の減速等により微減。

【食料】横這い
食品事業は、農産物取引を中心に堅調に推移。畜産事業は、市況の回復を受け前期の落ち込みから回復。食糧事業は国内販売価格の下落により苦戦。

【鉄鋼・素材・プラント】減収減益
鉄鋼事業は、原油価格の低迷により主力の油井管事業が大幅減益。エネルギー事業は、市況の低迷により低調。工作機械・産業機械取引も為替の影響により低調。

【車両・航空】減収減益
車両・車載部品事業は、四輪車部品取引が円高により軟調。航空宇宙事業は、航空機部品取引が前期の反動はあるものの引き続き堅調に推移。



*本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。
*記載の数値は億円未満を四捨五入しておりますので、個別数値と合計数値が異なる場合があります。